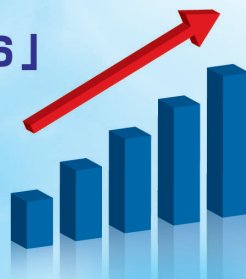


知財は“支出”から“収益”へ — 知的財産で稼ぐ時代 —



定員
500名

参加
無料

知財×金融

知財戦略

知財マッチング

知財は「お金を生み出す力」——。

知的財産は「コストがかかるもの」と思われがちですが、実はビジネスの成長を支える大きな“資産”です。

本セミナーでは、

● 2026年5月から施行される「企業価値担保権」など、知財と金融の新たな融合

● 自社の強みを本業に活かす知財戦略

● 他社との連携で眠っている知財を動かす知財マッチング

といった最新トピックをわかりやすく解説。

知財を“守る”だけでなく、“稼ぐ”ためのヒントがここにあります。

あなたの知財を、未来の成長エンジンに変えてみませんか？

日時

2026年1月23日(金)

13:00~16:30 (12:00より受付開始)

場所

名古屋観光ホテル3階
「那古の間」

(名古屋市中区錦一丁目19-30)

第1部 13:10~14:10 (60分)



肥塚 直人氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部東京本部 副本部長 兼
グローバルルール研究センター長 兼
知的財産コンサルティング室長 主席研究員

企業における知的財産と金融(マネタイズ)の関係を考える
～投資家の目線や新しい企業価値担保権制度の意義や展望も交えて～

第2部 14:20~15:20 (60分)



鈴木 健二郎氏

(株)テックコンシリエ 代表取締役
知財ビジネスプロデューサー

知的財産の活用で「失われた30年」を取り戻せ
～「見えない資産」が利益を生む～

第3部 15:30~16:30 (60分)



モデレーター 富澤 正

日本弁理士会東海会所属 弁理士

未来を拓く知財ビジネスマッチング
～特許活用によるオープンイノベーション～

申込方法

以下の二次元コードまたは
裏面のいずれかの方法に
よりお申込みください。



申込期限

2026年1月16日

パネリスト



(株)Mizkan Holdings
特許チームリーダー
井原 淳一郎氏



愛三工業(株)知的財産室
シニアスペシャリスト
藤村 修氏

日本弁理士会東海会は、「知的財産 ステキ財産」をキャッチフレーズに、知的財産の魅力を伝えていきます

知的財産
ステキ財産®

【問い合わせ先】



TOKAI BRANCH OF JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

日本弁理士会 東海会

主催 日本弁理士会東海会

後援 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、一般社団法人愛知県発明協会、INPIT愛知県知財総合支援窓口(予定)

名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル8階
電話 052-211-3110 FAX 052-220-4005
https://www.jpaa-tokai.jp/ E-mail: info-tokai@jpaa.or.jp

第1部 企業における知的財産と金融(マネタイズ)の関係を考える ～投資家の目線や新しい企業価値担保権制度の意義や展望も交えて～

内容 コーポレートガバナンスコードの改訂を1つの契機として、投資家とのコミュニケーションにおいて知的財産に触れる機会が増えた。また新しい企業価値担保権制度が誕生したが、金融機関にとってもパラダイムシフトとも言えるような意味合いのある制度であり、その運用が注目されている。事業環境の変化が早く難しい舵取りを迫られる今日、知的財産と金融の関係をしっかり理解いただき、成長の一助としていただきたい。

講師
肥塚 直人氏

博士(法学)。三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社入社以来、シンクタンク研究員として産業政策や地域振興政策に従事。入社当初は主に金融資本市場制度やファイナンスの観点から産業や地域への資金還流の仕組みづくりに従事したが、知的財産コンサルティング室に参加して以来、知的財産政策、知的財産経営等をテーマとして政策立案や政策執行の支援を行ってきた。また、個別企業のコンサルティングにおいても知財戦略を念頭においた事業戦略策定、新規事業戦略、標準化・ルール形成による市場創造戦略、オープン&イノベーションに適した技術情報管理のあり方、知的財産部門の新たな機能定義と実装等、多岐にわたるアドバイスをさせていただいてきた。

第2部 知的財産の活用で「失われた30年」を取り戻せ ～「見えない資産」が利益を生む～

内容 バブル崩壊以降の「失われた30年」で、日本は国際競争力を失い、時価総額ランキングから姿を消しました。この停滞を脱する鍵は、知的財産を「攻めの資産」として戦略的に活用することにあります。特許・商標・デザイン・データを組み合わせる知財ミックスは、GAFAMが実践する企業価値向上の核心です。本講演では、知財で稼ぐ仕組みづくりの重要性を説き、ブランド強化や収益化の実例に加え、新たな活用法としての「証券化スキーム」も紹介し、日本企業の再成長と持続的イノベーションの道筋を示します。

講師
鈴木 健二郎氏

三菱総合研究所、デロイトトーマツコンサルティングを経て、2020年に株式会社テックコンシリエを設立し現職に至る。三菱総研在職中に、三菱UFJ銀行に2年間出向。知財の価値を裏付資産とする投融資やM&Aなどの金融スキームの開発に従事し、知財が「宝の持ち腐れ」になっている多数の企業の経営再建に成功する。以降、企業が保有する技術力やアイデア、ノウハウ、ブランド、デザイン、アルゴリズムなどを掘り起こし、新規事業や研究開発に活かすための戦略立案・実行を支援するビジネスプロデューサーとして国内外で成果を上げている。著書に【「見えない資産」が利益を生む】(ポプラ社)がある。

第3部 未来を拓く知財ビジネスマッチング ～特許活用によるオープンイノベーション～

内容 モデレーターとして、前半を知財マッチングに取り組み始めた(株)Mizkan Holdings 特許チームリーダー井原氏を招き、後半をスタートアップと知財マッチングした愛三工業(株)知的財産室シニアスペシャリスト藤村氏を招き、前半後半に分け対談形式で知財ビジネスマッチングの魅力に迫ります。

モデレーター
富澤 正

弁理士 日本弁理士会東海会 副会長。2008年弁理士登録。コスモス国際特許商標事務所所長。2018年からは知財ビジネスマッチングを業務とするPATRADE株式会社を創業。社会課題の未利用特許を利用可能な企業とマッチングし新商品開発につなげるスタートアップ企業として注目され、全国で知財ビジネスマッチングを行う。愛知県のスタートアップ拠点STATION Aiに拠点をもち活動中。【メディア】「クローズアップ現代-『そのひらめきが金になる!』? 見直される発明の底力」(2023年5月NHK総合にて放送)、「特許が日本経済を救う なるほどマッチング」(2021年11月HBC放送にて放送)に出演。【著作・編集】「未来を拓く知財ビジネスマッチング」(2022年日刊工業新聞より発刊)

パネリスト

(株)Mizkan Holdings
特許チームリーダー

井原 淳一郎氏

愛三工業(株)

知的財産室シニアスペシャリスト

藤村 修氏

日本弁理士会東海会は、東海会地域(愛知・岐阜・三重・静岡・長野)における 知的財産活動の充実と発展に貢献することを使命の一つとして活動を行っています。
当会では、東海会(旧東海支部)の開設日(1997年1月31日)を記念して、毎年「知的財産セミナー」を開催しています。

※会場は室温調整が十分に出来ないこともありますので、衣服等で調整できるようにご準備下さい。
※ウィルス感染症流行等の事情により中止することがあります。中止の場合は弊社ホームページでご案内します。

以下のいずれかの方法によりお申込みください。
後日、入場券をお送りします。

- ①下の2次元バーコードよりお申し込みください。
- ②FAX、はがき、電子メールでお申し込みの場合は、

- 代表者氏名(複数名で御参加いただく場合は、参加者氏名)
 - 入場券をお送りするご住所
 - 会社名、団体名(個人の方は、結構です。)
 - 電話番号、FAX番号、メールアドレス
- をご記入の上、
表面の問い合わせ先にお送りください。

■申込締切日

2026年1月16日(金)



会場案内

名古屋観光ホテル

名古屋市中区錦一丁目19-30
電話052-231-7711

JR新幹線・在来線、近鉄線、名鉄線、
あおなみ線「名古屋駅」下車
ホテルまでタクシーで約5分

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車、
⑧、⑨、⑩、出口より徒歩約2分

東名高速道路 名古屋ICより約30分
名古屋高速都心環状線 錦橋出口より1分

